

令和2年11月26日（木曜日）

建設通信新聞

インフラ整備と 老朽化対策両立

足立議員が国政報告会

足立敏之参議院議員は24日、東京都千代田区のホテルグランドパレスで国政報告会を開き、「ウィズコロナ時代の新たな国土づくり」と題して講演し、建設業の課題や展望を示した。写真。

足立議員に先立ち、岸田文雄衆院議員が基調講演し、インフラ整備の提言と災害視察を中心に足立議員の活動を紹介した。続いて、建設業界を



代表する来賓として宮本洋一日本建設業連合会副会長があいさつした。

足立議員は講演のポイントとして、▽災害の頻発するぜい弱な日本▽海外と比較して低水準の貧弱なインフラ▽必要とされる公共投資▽建設産業のさらなる再生に向けて「日本のインフラは概成する前に老朽化してしまっている。整備と老朽化対策を同時に進めなければならない。そのため、適切な公共事業予算による仕事の量と、改正公共工物品質確保促進法やデジタル化に基づく仕事の質をどちらも確保する必要がある」と指摘した。